

図書館再整備検討委員会

【第2回会議】

とき 平成31年4月22日(月)

ところ 図書館本館 3階会議室

目次

(1) アンケートの結果概要	3
(2) 新しい図書館本館再整備にあたっての基本的な考え方 (案) .	15
(3) 新しい図書館本館の望ましい立地条件について (案)	17
意見交換	
事務連絡	20

(1) アンケートの結果概要

① 市民アンケート

回収数：515名（回収率 34.3%）

対象者：18歳以上の市民（男女）1,500名（住民基本台帳より無作為抽出）

調査期間：平成31年2月22日から3月18日まで

② 利用者アンケート

回答者数：542人

対象者：18歳以上の利用者（男女） ※市外からの利用者も含む

調査期間：市民アンケートと同じ

実施施設：図書館本館、西口・子どもライブラリー、
7学習センター図書室（2万冊以上の蔵書）

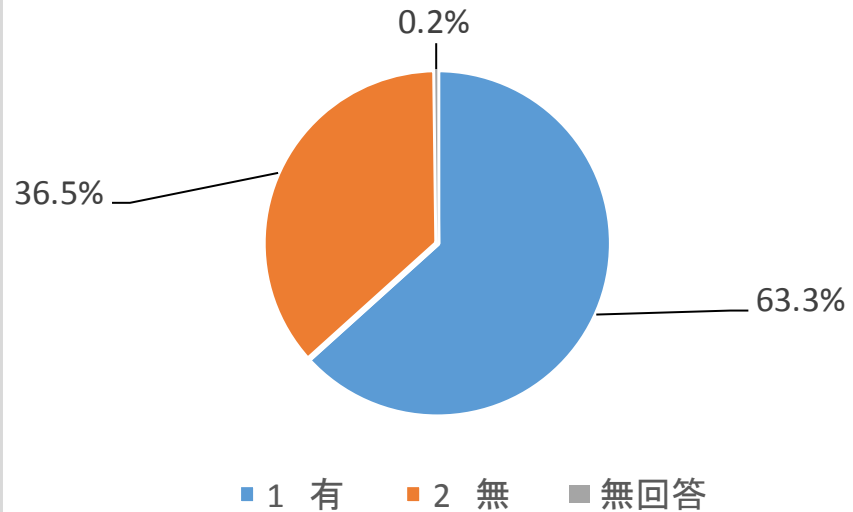
問 1 : 図書施設の利用

約3人に2人は、市内のいずれかの図書施設の利用経験がある。(63.3%)

図書施設の利用経験

1 有	326	63.3%
2 無	188	36.5%
無回答	1	0.2%

問1:図書施設利用経験

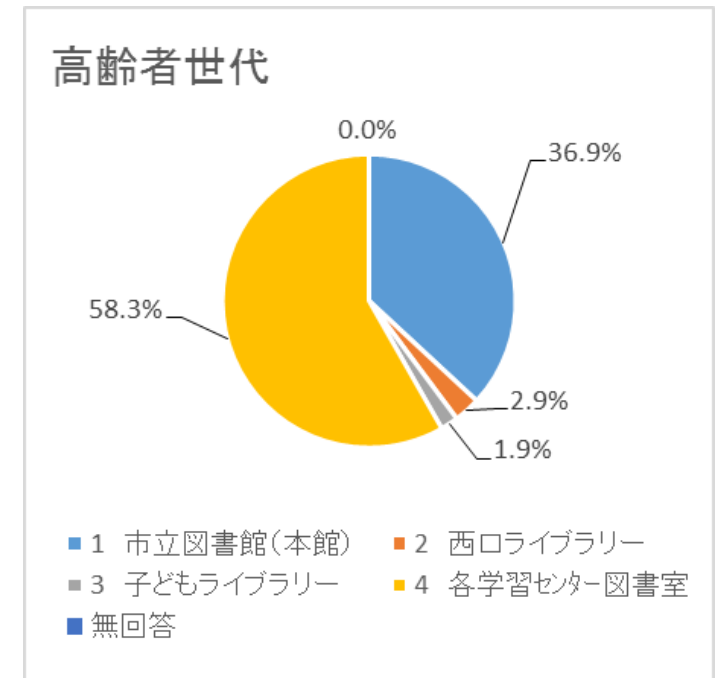
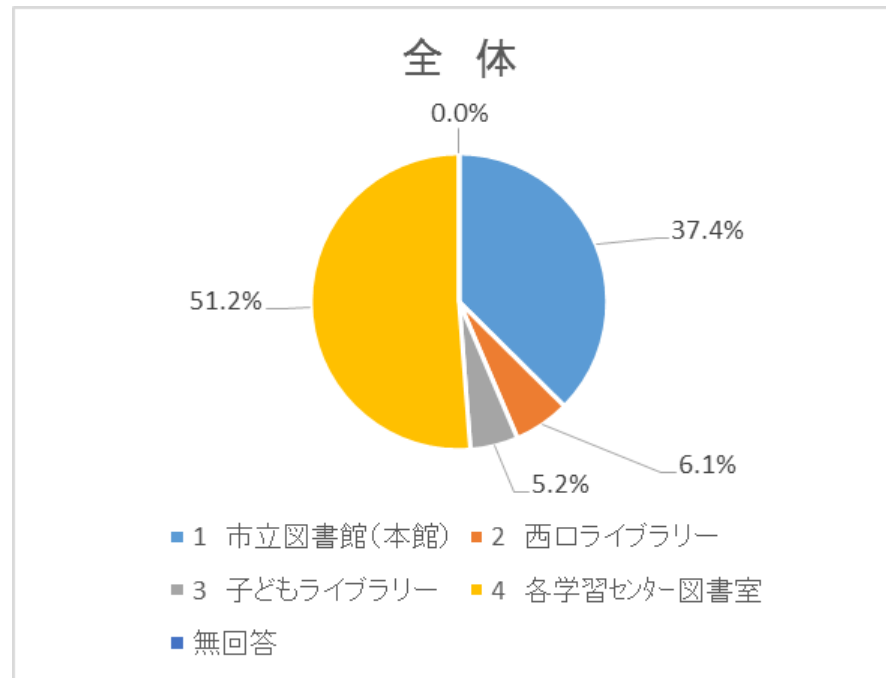


問 2 : 図書施設の利用

図書館を利用した人のうち半数が、身近にある地区の学習センター図書室を利用（51.2%）
図書館本館は、約3人に1人が利用（37.4%）

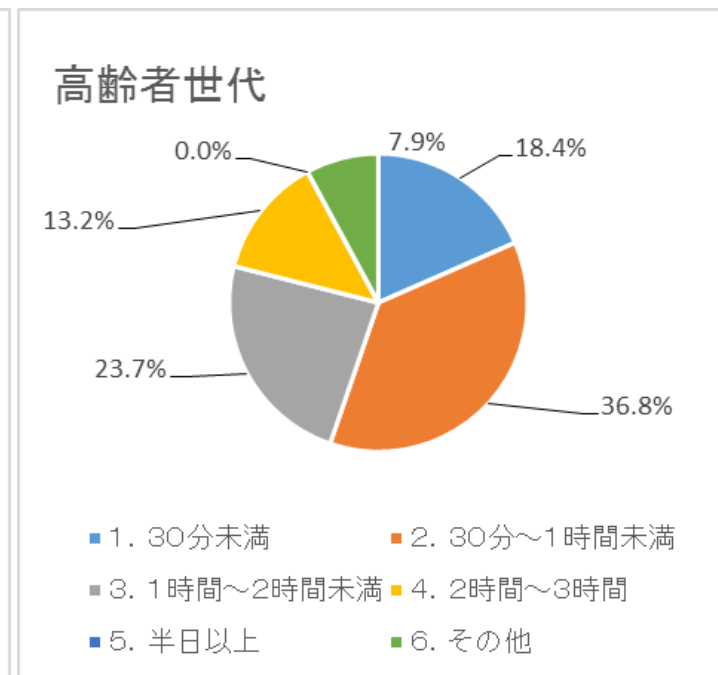
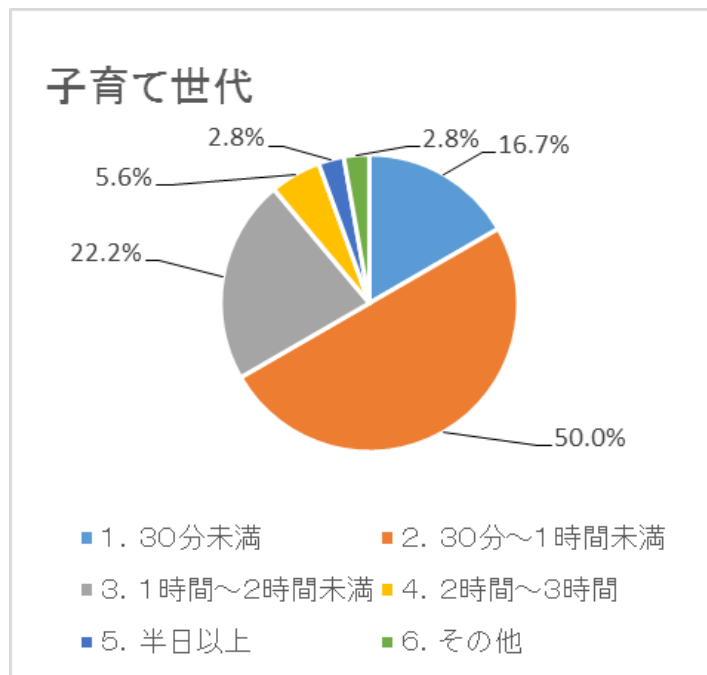
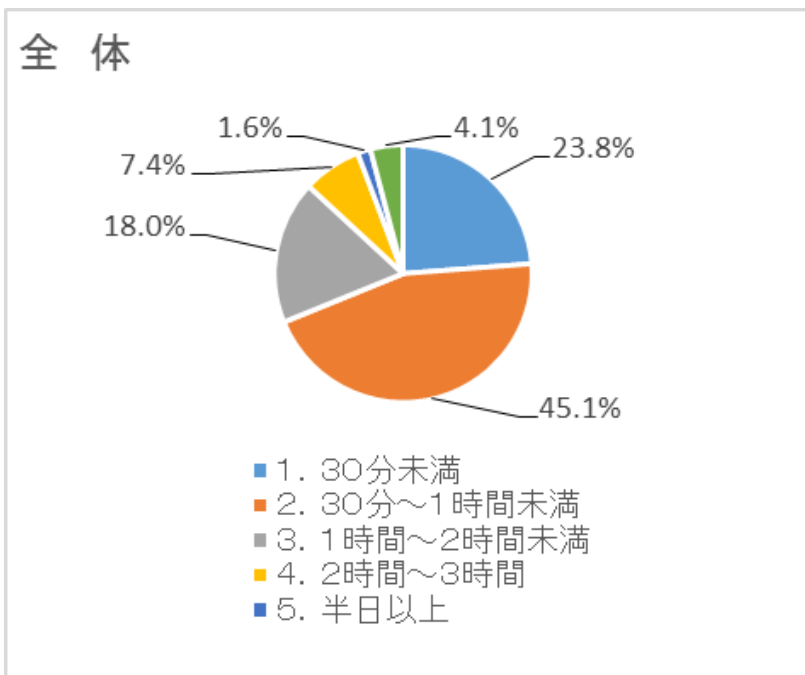
※高齢者世代（60歳以上）では、学習センター図書室を利用する割合（58.3%）が多めの傾向

1 市立図書館(本館)	122	37.4%
2 西ロライブラリー	20	6.1%
3 子どもライブラリー	17	5.2%
4 各学習センター図書室	167	51.2%
無回答	0	0.0%



問4：図書館本館の利用者の施設滞在時間

30分未満が（23.8%）、1時間未満が（68.9%）、2時間未満が（86.9%）

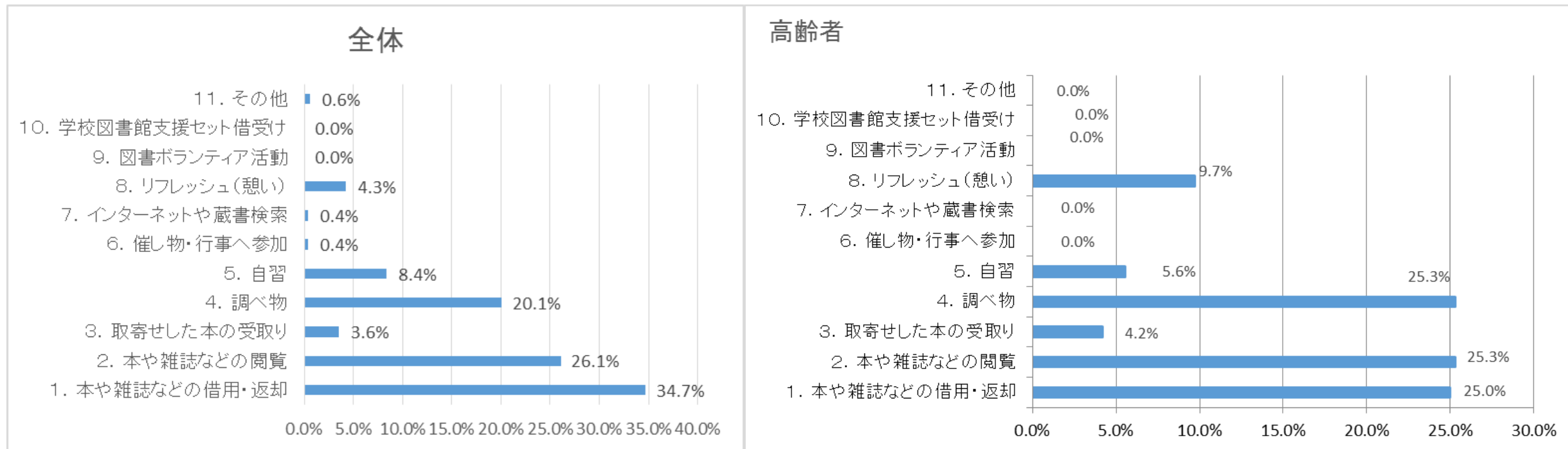


問5：図書館本館の利用目的（複数回答）

本などの借用・返却（全体の34.7%）、閲覧（26.1%）、調べ物（20.1%）などで問4の結果を踏まえると、用件が済むと退館する傾向。

滞在施設、憩いの施設としての利用は、現状ではみられない。

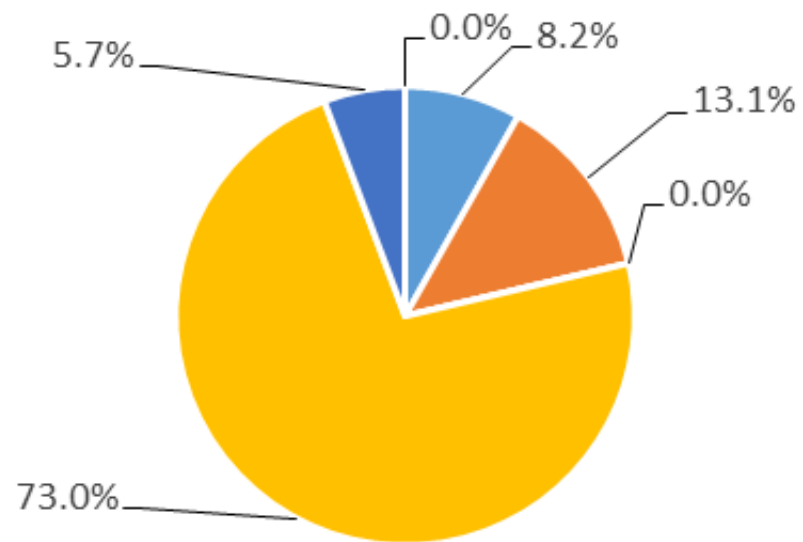
※高齢者世代（60歳代以上）は憩いのスペース（9.7%）も目的としてあり。



問6：図書館本館への交通機関

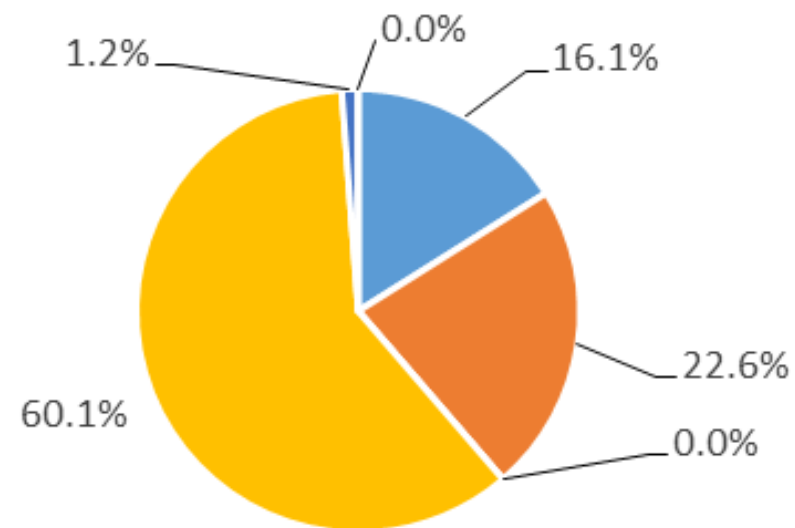
自家用車（73.0%）、徒歩・自転車（21.3%）の利用となっている。

市民アンケート 全体



- 1. 徒歩
- 2. 自転車
- 3. バイク
- 4. 自家用車
- 5. バス
- 6. タクシー

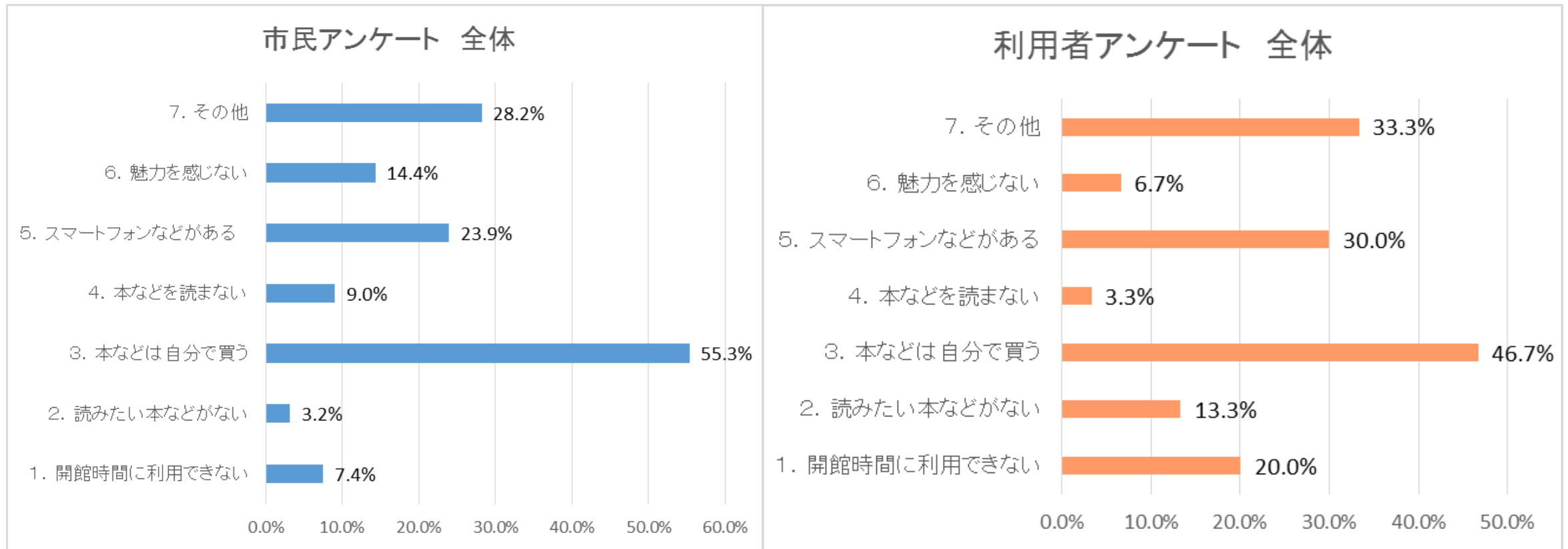
利用者アンケート 全体



- 1. 徒歩
- 2. 自転車
- 3. バイク
- 4. 自家用車
- 5. バス
- 6. タクシー

問7：図書施設を利用しない理由（複数回答）

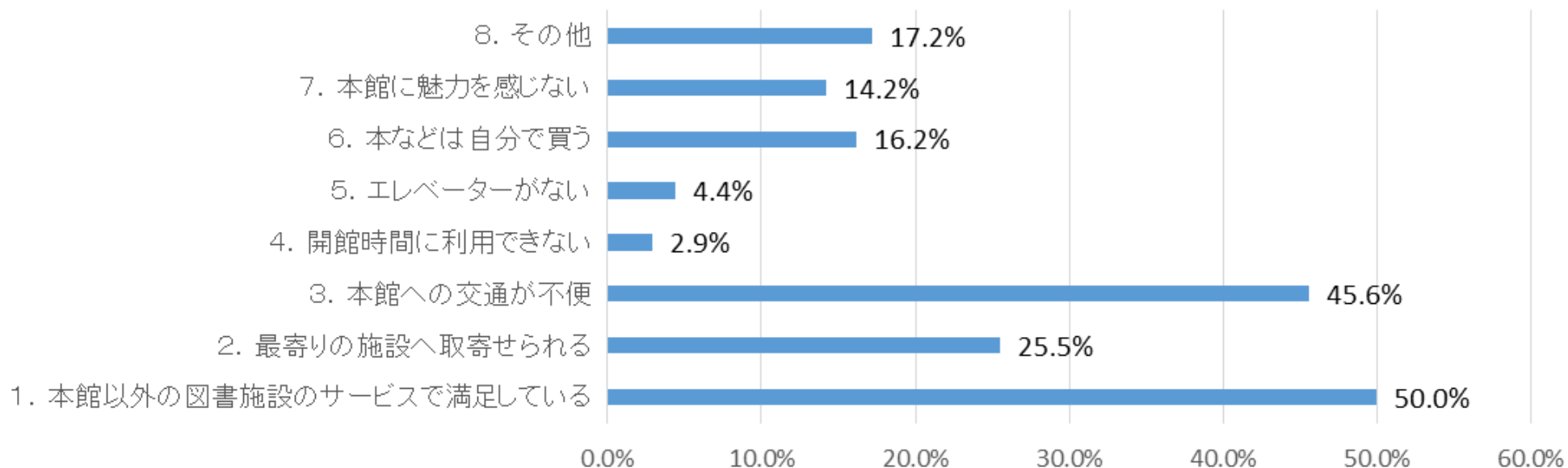
どちらのアンケート調査も、約半数が本などは自分で買うから、約4人に1人はスマートフォンなどがあるからと回答している。



問 8 : 図書館本館を利用しない理由 (複数回答) ☆ : 前回検討員会での意見と同じ

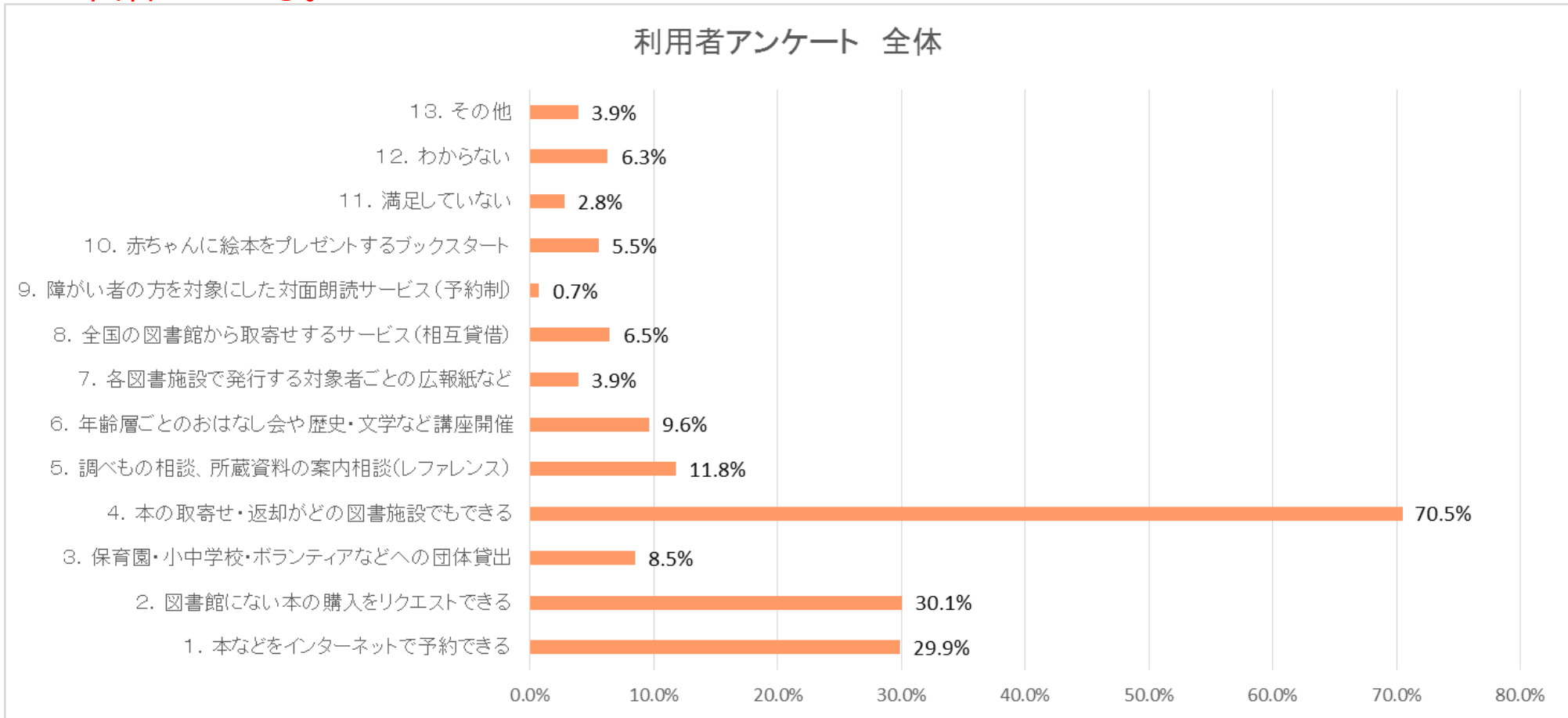
- ①本館以外の身近にある図書施設のサービスで満足している、②本館への交通が不便である☆、
③最寄りの図書施設で取寄せられる☆という理由が続いている。

その他の記載では、駐車可能台数(20台)が少ない☆、バス停から遠く本の持ち運びが不便☆、
一方通行のため出入口が分かりにくい☆、などの意見が出された。



問9：図書施設で満足しているサービス（複数回答）

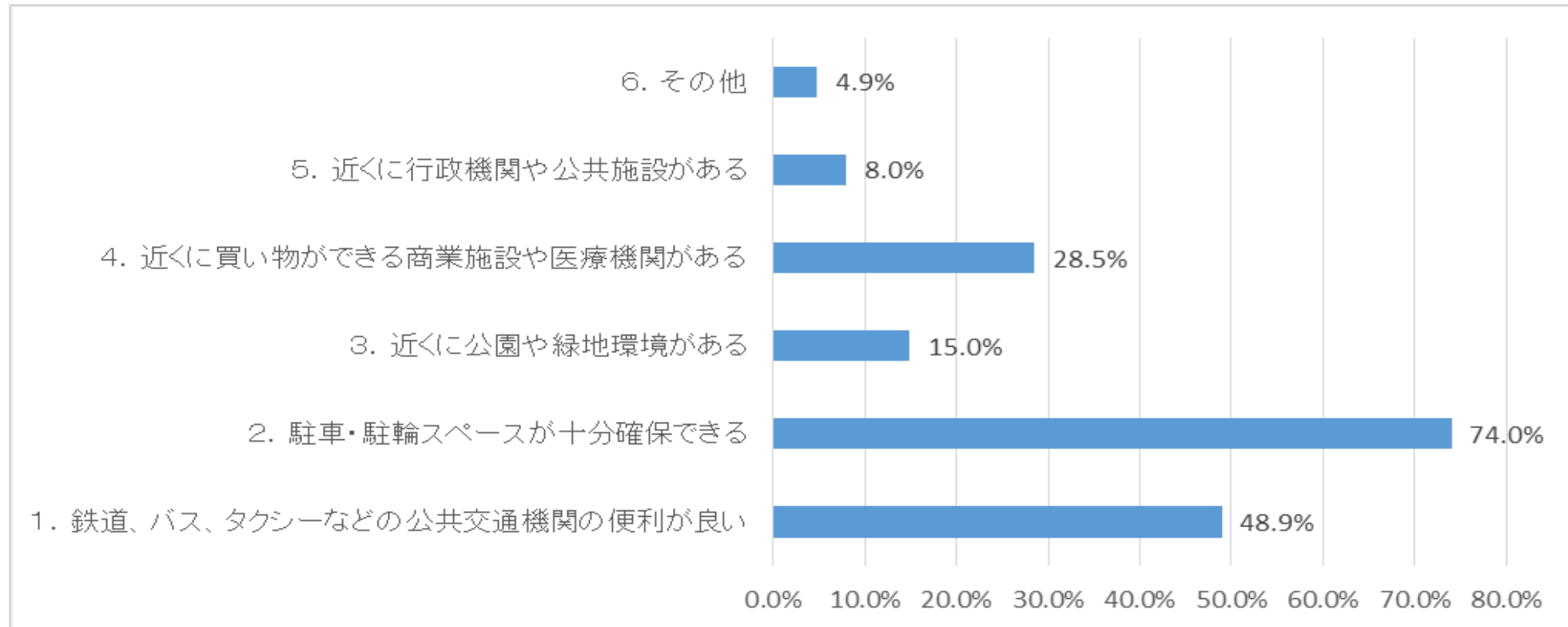
利用者アンケート調査では、約7割が本の取寄せ・返却がどの図書施設でもできると回答している。



問10：新図書館の設置場所として優先する要件 (複数回答)

☆：前回検討委員会での意見と同じ

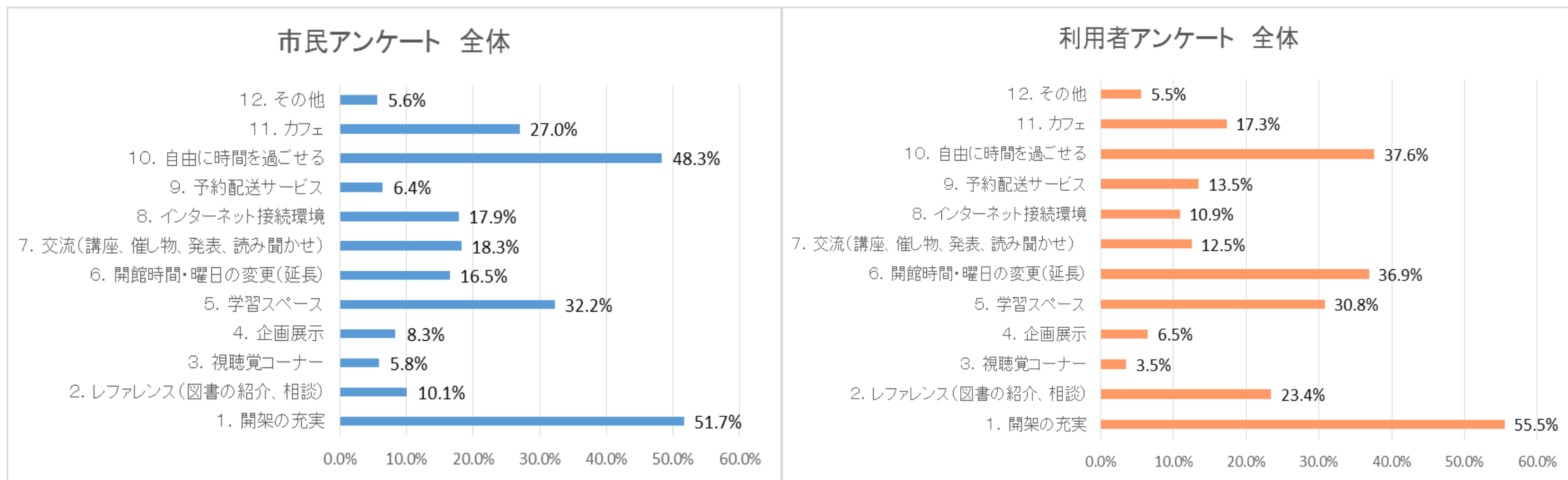
市民アンケート調査では、4人のうち約3人が「駐車・駐輪スペースが十分に確保できること（74.0%）」☆、約半数が「公共交通機関との便利が良いこと（48.9%）」☆を要件としている。



問 1 2 : 図書館で重視する機能 (複数回答)

☆ : 前回検討員会での意見と同じ

どちらのアンケート調査も、約半数が「1、開架スペースの充実」を挙げ、次に重視する機能としては、「10、自由に時間を過ごせる機能」☆と続いている。



◆市民アンケート結果に見る図書館本館の現状

1. 市民の4人に1人が、図書館本館を利用している

①全体の約60%の市民が、図書施設の利用経験あり。

②そのうちの約40%弱が、図書館本館を利用している。

∴図書施設を利用しない市民を含めた全市民の約25%が、図書館本館を利用していることになる。

2. 本館利用者のうち、約70%は自家用車による利用

①駐車台数が限られているものの、時間を気にせず駐車できる環境を求めている。

②本の借用・返却で複数の本を持ち運ぶことを反映している。

3. 滞在時間は短く、本の借用・返却、閲覧が中心

本館利用者の約70%が、1時間未満の利用、2時間未満では90%に達する。

4. 学習センター図書室が利用しやすく身近に感じている

①1.の①のうち、約50%は駐車場を備えている中心市街地以外の身近な学習センターを利用している。

②市内のどの図書施設でも本を取り寄せることができる本市図書サービスを活用している。

(2) 新しい図書館本館再整備にあたっての基本的な考え方(案)

その1:本と市民をつなぎ気軽に親しむことができる図書館本館

～主にハード的な側面から～

①館内が明るく開放的で親しみのある施設

- ⇒子どもたちも楽しく過ごせる空間
- ⇒にぎわいから距離を置き、静かに本と向き合える落ち着いた空間
- ⇒中高生が勉強に励み、友人との会話を楽しめる空間
- ⇒市民がそれぞれ自由に時間を過ごせる空間
- ⇒居心地の良い場所（サードプレイス）となる憩いの空間

②来館しやすく安全で利用しやすい施設

- ⇒赤ちゃんから障がい者、高齢者に配慮した環境整備
- ⇒自家用車・公共交通機関等の交通手段で来館しやすい環境整備
- ⇒防災に優れ、安全性の高い環境整備

◎アンケートからのキーワード

- ～利用目的～
本の借用・返却、閲覧、調べ物
- ～重視する蔵書の種別～
一般書、専門書、児童書、
新聞・雑誌、郷土資料
- ～図書館で重視する機能～
開架の充実、カフェ、交流、
学習スペース、
インターネット接続環境、
自由に過ごせる
- ～本館への交通機関～
自家用車、自転車
- ～新図書館の設置場所要件～
公共交通機関、駐車・駐輪場

その2:本市図書サービス網の要となる効率的な図書館本館

～主にソフト的な側面から～

①将来と本市図書サービスの特徴（分散型）を踏まえた本館機能の検討

⇒本市図書サービス網・サービス機能の充実

⇒学習センター図書室、移動図書館を含めた本館の役割・規模の検討

⇒本市図書サービスの特徴を踏まえた最適な本館開架スペースの検討

⇒将来の人口構造・情報通信技術と新たなニーズへの対応を見据えた本館機能の検討

②本館機能の強化に向けた中心市街地図書施設の再編検討

⇒立地・利用実態、図書サービスのあり方を踏まえた施設の集約化による本館機能の強化

⇒図書サービスの充実に向けた効率的な図書施設再配置の検討

◎アンケートからのキーワード

～利用目的～

本の借用・返却、閲覧、調べ物

～重視する蔵書の種別～

一般書、専門書、児童書、
新聞・雑誌、郷土資料

～満足しているサービス～

取り寄せ・返却がどの施設でも可
購入リクエスト、
インターネット予約
レファレンスサービス

～図書館で重視する機能～

開架の充実、学習スペース

(3) 新しい図書館本館の望ましい立地条件について(案)

新しい図書館本館の整備用地に求められる立地条件として、以下の条件が満たされることが望ましいと考えます。

① 駐車場が十分確保できる敷地

⇒ アンケートの結果や利用実態・生活態様などから
自家用車による来館需要が高い

② 公共交通によるスムーズなアクセス

⇒ 子どもや障がい者、高齢者など、自家用車を利用
しない市民にも集まりやすい場所

③ 市外の方にも案内しやすい場所

⇒ 現敷地のような一方通行で出入口がわかりずらく
なく、幹線道路沿いなど案内しやすい場所

< 検討委員会 >

利便性等についての検討

+

財政面からの検討

+

関連する計画との整合など



整備候補地の選定

< 市 > 全体の中で総合調整

●新しい図書館本館の基本的な考え方について【意見交換】

～基本的な考え方（案）・望ましい立地条件について（案）の検討へ向けて～

◎アンケートからのキーワード

～利用目的～

本の借用・返却、閲覧、調べ物

～重視する蔵書の種別～

一般書、専門書、児童書、新聞・雑誌、郷土資料

～図書館で重視する機能～

開架の充実、カフェ、交流、学習スペース、
講座・催し物、読み聞かせ、
インターネット接続環境、自由に過ごせる

～本館への交通機関～

自家用車、自転車

～新図書館の設置場所優先要件～

駐車・駐輪場、公共交通機関

～満足しているサービス～

取り寄せ・返却がどの施設でも可
購入リクエスト、インターネット予約
レファレンスサービス

◎施策面からのキーワード

新福島市総合計画（平成33年度～）

…教育振興基本計画、生涯学習振興計画
読書活動推進計画、など関連する計画・構想

風格ある県都を目指すまちづくり構想

…広域的な拠点地区として活力のあるまちづくり
魅力的で賑わいのあるまちづくり
まちを楽しみ、すごせるシンボル軸・回遊空間づくり
快適で住みやすいコンパクトなまちづくり
みんなが参画し、連携するまちづくり

人口減少、少子高齢社会、子育て支援

高度情報通信技術、AI

市民との協働、市民交流、地域振興

東京2020オリンピック・パラリンピック

公共施設の最適化と財政状況

オールふくしまの力の結集

+

=

事務連絡

1. 第3回 6月 視察（今後調整）
2. 第4回 7月
 - ・ 基本的な考え方（案）のまとめ
 - ・ 望ましい立地条件について（案）のまとめ

※ 各委員の皆様から、第4回検討委員会へ向けてのご意見をいただきたいと存じます。
ご多忙とは存じますが、5月31日（金）までに、事務局までお寄せ願います。